

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	11	在宅老人対策に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	11,323千円	12,979千円	18,543千円	0千円
総人件費	3,797千円	2,972千円	2,972千円	
総事業コスト	15,120千円	15,951千円	21,515千円	

事務事業名	01 在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業				指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要														
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	申請を受け、交付条件を満たした人へ助成券を郵送にて交付する。																
戦略プラン	-				600名	950名	1,400名	1,400名	-	-	-																		
総合戦略	-				実績	1,062名	1223名	-																					
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				H27年度				H28年度				その他の指標																
					改善目標	委託業者との連絡を密に行うことで、トラブルの発生に備える体制を構築する。				改善目標	利用者からの問合せに迅速に対応し、委託業者との連絡を密に行うことで、トラブルの発生に備える。助成券の郵送先を確実に受け取りができる人に設定することで、再送や受取人の助成券の紛失というような事態を減らす。																		
根拠法令等	在宅高齢者布団丸洗い乾燥事業実施要綱				事業計画	利用者が年々増加している事業であるため、申請に対する交付決定が滞ることのないようにする。また、利用者の増加に伴い、トラブルが発生することも増えているため、申請の際には、事前の事業の説明を徹底することで、トラブルの発生を抑え、委託業者との細かな連絡により、トラブルに備えることのできる体制を構築する。				事業計画	布団(掛布団・敷布団・毛布)の丸洗い乾燥を、65歳以上でひとり暮らし・高齢者世帯は年1回、65歳以上でねたきり状態等の方は年最大2回、無料で実施する。替えの布団がない場合には無料で布団の貸出しを行う。																		
事業分類	A 任意的事業				活動実績	1223名に助成券を交付した。65歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯等を対象に、第1期:5月～9月、第2期:10月～3月として年最大2回、布団(掛布団・敷布団・毛布)の丸洗い乾燥を無料で行った。替えの布団がない場合には無料で布団の貸出しを行った。				上半期活動実績	-																		
執行体制	全て委託				成果	助成券交付者数は年々増加しており、今年度もより多くの高齢者の健康保持・衛生環境の向上に寄与できた。				上半期成果	-																		
事業の目的	ひとり暮らし等により布団の乾燥が困難な方を対象に布団の丸洗い乾燥を行い、高齢者の健康の保持及び生活環境の向上を図り、在宅福祉の増進に寄与するため。				課題	利用者数の増加や事業認知度の高まりに伴い、トラブル等の発生もあった。利用者により事業内容を正しく理解してもらうための周知や、委託業者と密に連絡を取っていくことが継続的に必要である。				課題	-																		
事業の概要	布団(掛布団・敷布団・毛布)の丸洗い乾燥を、年2回実施する。布団の替えがない方には、布団の貸出も無料で行う。本人もしくは家族等から申請を受け、市で対象条件を確認後、交付が決定したら助成券を自宅に郵送する。委託業者には、交付決定の都度、利用者リストを送付し、事業の実施を依頼する。				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-															
	ISO 14001 環境性	大気汚染の防止				評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-																	
郵送物が滞りなく受け取られることにより、再配達にかかる車などの運用がなくなる。				効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-																					
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-																			
					事業実施コスト					H26年度決算					H27年度決算					H28年度当初					H29年度当初				
					事業費(A)					9,908千円					8,576千円					9,687千円					0千円				
					国庫支出金					0千円					0千円					0千円					0千円				
					県支出金					0千円					0千円					0千円					0千円				
					地方債					0千円					0千円					0千円					0千円				
					その他特財					0千円					0千円					0千円					0千円				
					一般財源					9,908千円					8,576千円					9,687千円					0千円				
					人件費(B)					2,278千円					1,486千円					1,486千円									
					正職員					従事割合					0.30人					0.20人					0.20人				
					時間外勤務					0.00時間					0.00時間					0.00時間									
					臨時職員等					有					有					有									
					事業コスト(A+B)					12,186千円					10,062千円					11,173千円									
					H29年度当初積算根拠					-					-					-									
					H29年度の方向性					-					理由					-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	11	在宅老人対策に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	11,323千円	12,979千円	18,543千円	0千円
総人件費	3,797千円	2,972千円	2,972千円	
総事業コスト	15,120千円	15,951千円	21,515千円	

事務事業名	02 高齢者日常生活支援事業				指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	申請を受け、交付条件を満たした人へ助成券を郵送にて交付する。		
戦略プラン	-	-	-	-	310名	570名	800名	800名	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	実績	572名	677名	-							
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				H27年度				H28年度				その他の指標		
根拠法令等	高齢者日常生活支援サ-ビス利用料助成事業実施要項				改善目標	交付者数は増加しているが、利用率は半数程度である。依頼できる作業が明確でない等の改善点を解消し、より利用しやすい事業とする。				改善目標	助成券交付者数の増加は著しいが、利用率は半数程度であるため、依頼できる作業が明確でない等の改善点を解消する。				
事業分類	A 任意的事業				事業計画	具体的に依頼できる作業とできない作業の見直しをいくつか、市の広報誌及び民生委員等への事業説明により広報を行い、利用を促進する。				事業計画	75歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯を対象に、対象者が自ら行うことが困難な作業(掃除、窓拭き、電球取替等)を協力事業所に依頼した際にかかる費用を一部助成する。(一世帯あたり年間1,214円券×5枚)				
執行体制	一部委託				活動実績	677名に助成券を交付した。75歳以上のひとり暮らし・高齢者世帯を対象に、対象者が自ら行うことが困難な作業(掃除、窓拭き、電球取替等)を協力事業所に依頼した際にかかる費用を一部助成した。(一世帯あたり年間1,214円券×5枚)				上半期活動実績	-				
事業の目的	日常生活を送る上で自ら行うことが困難な作業を依頼した際にかかる費用の一部を助成することにより、高齢者の日常生活を支援し、高齢者の在宅福祉の増進を図るため。				成果	高齢者の日常生活を支援し、在宅福祉の増進を図ることができた。				上半期成果	-				
事業の概要	対象者が自ら行うことが困難な作業(掃除、窓拭き、電球取替等)を協力事業所に依頼した際にかかる費用の一部を助成する。一世帯あたり年間1,214円券を5枚交付する。本人・家族等から申請を受け、市で対象条件を確認・決定のうえ、助成券を自宅に郵送する。				課題	交付者数は年々増加しているが、利用率が半数程度である。				課題	-				
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	未達成							
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	未達成							
ISO 14001 環境性	大気汚染の防止				評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			評価	有効性	-			
	郵便物が滞りなく受け取られることにより、再配達にかかる車などの運用がなくなる。					効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
						総合評価	A: 成果を維持して継続実施				総合評価	-			
					事業実施コスト					H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
					事業費(A)					1,415千円	4,403千円	8,856千円	0千円		
					国庫支出金					0千円	0千円	0千円	0千円		
					県支出金					0千円	0千円	0千円	0千円		
					地方債					0千円	0千円	0千円	0千円		
					その他特財					0千円	0千円	0千円	0千円		
					一般財源					1,415千円	4,403千円	8,856千円	0千円		
					人件費(B)					1,519千円	1,486千円	1,486千円			
					正職員					従事割合	0.20人	0.20人	0.20人		
					時間外勤務					0.00時間	0.00時間	0.00時間			
					臨時職員等					無	有	有			
					事業コスト(A+B)					2,934千円	5,889千円	10,342千円			
					H29年度当初積算根拠					-					
					H29年度の方向性					-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	12	老人ホ-ム入所措置に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,379千円	8,053千円	9,051千円	0千円
総人件費	2,278千円	2,229千円	2,229千円	
総事業コスト	10,657千円	10,282千円	11,280千円	

事務事業名	01 老人ホ-ム入所措置事業	指標名	措置入所者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	5名が継続的な措置入所を行っていたが、平成25年3月に1名死亡したため、以降4名が継続的な措置入所を続けている。
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
			5名	4名	4名	4名	4名	4名	4			
総合戦略	- - - -	実績	4名	4名	-					その他の指標	-	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画	H27年度				H28年度						
根拠法令等	老人福祉法 つくば市老人福祉法施行細則	改善目標	養護老人ホ-ムに入所している被措置者は高齢であるため、ホ-ムでの生活状況等について施設と連携して情報収集を行う。				改善目標	施設への訪問調査の際に、入所者や施設担当者から情報収集を積極的に行い連携を図る。				
		事業計画	心身ともに安定した生活を送れるよう継続的な支援をいつつ、戸籍の見つからない入所者については施設訪問による現状調査を行い、戸籍の公用請求を継続して行っていく。				事業計画	6月に所得状況を確認。平成28年度下半期に施設訪問を行い本人の生活状況等の聞き取り調査を行い継続的な支援が次年度以降も必要かどうか検討を行う。				
事業分類	C 義務的事業	活動実績	継続的な措置入所者については4名。内1名戸籍が確認できない者がいるため、施設との連絡を密にし、これまでの記憶等から以前の生活の様子などを聞き取りを継続しているが、どこに戸籍が置かれているのか分からず継続的な支援を要する。				上半期活動実績	-				
執行体制	職員のみ	成果	現在の措置入所者について心身ともに安定した生活を送ることができた。				上半期成果	-				
事業の概要	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の高齢者の中で入所判定委員会により入所が必要と認められた者に対し、市の職権により養護老人ホ-ムに入所措置し、その生活費を支弁する。また、被措置者本人の所得に応じて、生活費の一部を徴収する。	課題	養護老人ホームがつくば市内にないため、措置入所者は遠方で生活している状態である。施設との連携し継続的な支援を図る必要がある。				課題	-				
		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
ISO 14001 環境関連性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-				
	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-				
	-		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-				
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	H29年度当初積算根拠		H29年度の方向性	-	理由	-	
事業費(A)		8,379千円	8,053千円	9,051千円	0千円	H29年度当初積算根拠						
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	H29年度当初積算根拠						
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	H29年度当初積算根拠						
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	H29年度当初積算根拠						
その他特財		0千円	0千円	339千円	0千円	H29年度当初積算根拠						
一般財源		8,379千円	8,053千円	8,712千円	0千円	H29年度当初積算根拠						
人件費(B)		2,278千円	2,229千円	2,229千円		H29年度当初積算根拠						
正職員		従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	H29年度当初積算根拠						
時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間		H29年度当初積算根拠						
臨時職員等		無	無	無		H29年度当初積算根拠						
事業コスト(A+B)		10,657千円	10,282千円	11,280千円		H29年度当初積算根拠						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	13	ひとり暮らし老人福祉に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	5,770千円	6,433千円	9,241千円	0千円
総人件費	5,316千円	4,457千円	4,457千円	
総事業コスト	11,086千円	10,890千円	13,698千円	

事務事業名	01 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置事業				指標名	設置台数				指標種別	成果指標	指標の概要				
	高年齢者支援体制の整備				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度			
戦略プラン	1	1			310名	280名	285名	290名	290名	290名	290名	年度末現在，設置されている台数を指標とする。				
実績					241名	228名	-									
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標			
	-	-	-	-	改善目標	雨漏り等による機器の故障が報告されることもあり，ひとり暮らし高齢者の生活状況により機器の劣化状況は大きく変化しているため，機器の現状確認を行う。				改善目標	委託業者から利用者の入院，入所等の情報が入った場合は，協力員や親族と連絡を取り対応する。					
個別計画	-				事業計画	3年毎の定期点検該当年であるため9月以降機器の接触不良等を確認し壊れているものは新しい機械と入れ替え，安全性を向上させ事業を実施する。				事業計画	65歳以上の病弱なひとり暮らしの方，75歳以上のひとり暮らしの方に対し，緊急通報システムを貸与し，急病，災害その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り，高齢者等の不安を解消するとともに，生活の安全を確保する。					
根拠法令等						活動実績	定期点検により機器の劣化情報を確認し，9月以降に劣化が確認された144台については交換を行った。3月末現在利用者数228名。月1度のお伺い電話により利用者の状況の把握を行った。また本人からの救急搬送の要請等は，状況に応じて協力員や親族と連絡をとりながら，救急車の手配等最善と思われる対応を行った。				活動実績	-				
事業分類	A 任意的事業				成果	民間委託を行ったことによりお伺い電話や相談などの業務が可能となり，看護師・相談員が対応しているので利用者に対する見守りも強化された。				成果	-					
執行体制	一部委託				課題	ひとり暮らし高齢者に対するサービスのため，死亡や入所による利用中止の際，自宅に設置した機械を回収することが困難になるケースがあり，対応方法を検討していく必要がある。				課題	-					
事業の目的	急病，災害その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り，高齢者等の不安を解消するとともに，生活の安全を確保するため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠			
事業の概要	ひとり暮らしの高齢者等にペンダント型無線発信機等を貸与することにより，急病その他の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り，当該高齢者の不安の解消や生活の安全を確保する。				有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-					
ISO 14001 関連性	-	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
												事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
												事業費(A)	5,420千円	6,121千円	8,945千円	0千円
												国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
												地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
												その他特財	311千円	617千円	378千円	0千円
												一般財源	5,109千円	5,504千円	8,567千円	0千円
												人件費(B)	3,797千円	3,714千円	3,714千円	
												正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人
												時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
												臨時職員等	無	無	無	
												事業コスト(A+B)	9,217千円	9,835千円	12,659千円	
												H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	13	ひとり暮らし老人福祉に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	5,770千円	6,433千円	9,241千円	0千円
総人件費	5,316千円	4,457千円	4,457千円	
総事業コスト	11,086千円	10,890千円	13,698千円	

事務事業名	02	ひとり暮らし高齢者愛の定期便事業	指標名	利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	
戦略プラン	-	-	-	140名	100名	100名	100名	-	-	-		
総合戦略	-	-	-	実績	78名	45名	-					
個別計画	-			H27年度				H28年度				
根拠法令等	つくば市愛の定期便事業実施要項		改善目標	利用者の減少は、宅配食事サ-ビスへの移行もある。それに伴う利用者の減少や、協力店の減少といった問題はあるが、宅配食事サ-ビス事業までは必要としていない方のため、本事業をもつての安否確認を行う。				改善目標	民生委員やケアマネジャーの会議で他の在宅福祉事業と同様に周知する。			
事業分類	A 任意的事業		事業計画	現状のまま、周知をしつつ、事業を実施する。				事業計画	見守りが必要な70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、週3回乳製品を配達する。不在時や緊急時には配達事業者から市に連絡が入り、本人や緊急連絡先に連絡を取り、安否確認を行う。			
執行体制	一部委託		活動実績	新規利用申込者数：4名。利用者数：45名（平成28年3月末現在）。70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、週3回を限度に乳製品を配達した。配達開始日に連絡なく不在だった場合、本人や親族等に連絡を取り、安否確認を行った。				上半期活動実績	-			
事業の目的	ひとり暮らし高齢者に週3回乳製品を配布し、安否確認・健康保持・孤独感解消を図るため。		成果	ひとり暮らし高齢者の健康保持及び安心した生活に寄与できた。				上半期成果	-			
事業の概要	70歳以上のひとりで生活している高齢者に、週3回乳製品を、安否確認を兼ね配布する。不在時や緊急時には事業者から連絡が入り、高齢福祉課が緊急連絡先に連絡を取ることで安否確認を行う。		課題	利用者数が減少傾向である。入院や施設への入所、手渡しでの受取りが困難、協力店の閉店等、原因は様々だが、事業内容の周知が継続的に必要。				課題	-			
ISO 14001	環境性	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
			有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-			
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
			評価					評価				
			事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	350千円	312千円	296千円	0千円
			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	内訳	0千円	0千円	0千円	0千円
			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
			一般財源	350千円	312千円	296千円	0千円	一般財源	350千円	312千円	296千円	0千円
			人件費(B)	1,519千円	743千円	743千円		人件費(B)	1,519千円	743千円	743千円	
			正職員	従事割合	0.20人	0.10人	0.10人	正職員	0.20人	0.10人	0.10人	
			時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
			臨時職員等	無	無	無		臨時職員等	無	無	無	
			事業コスト(A+B)	1,869千円	1,055千円	1,039千円		事業コスト(A+B)	1,869千円	1,055千円	1,039千円	
			H29年度当初積算根拠	-								
			H29年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	30,025千円	31,882千円	30,017千円	0千円
総人件費	4,559千円	5,201千円	4,458千円	
総事業コスト	34,584千円	37,083千円	34,475千円	

事務事業名	01	高齢者生きがい活動支援事業				指標名	行事参加人数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	その他の指標						
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	おひさまサンサン生き生きまつりの参加人数を指標とする。										
総合戦略	-	-	-	-	実績	1,800名	2,300名	2,300名	2,300名	-	-	-	シルバ-クラブ大会 参加人数450名 シルバ-クラブ数 134団体										
個別計画	-					H27年度				H28年度				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初					
根拠法令等	-					改善目標	1イベントの参加人数が増加していることに加え、今年度は記念の式典も同時に開催するため、より円滑な進行をする。				改善目標	おひさまサンサン生き生きまつりについては、地区により参加人数の偏りがあるため、会場内の席の配置を工夫する。屋内になり実施できなくなった種目もあるため、新たな種目の検討を行う。											
事業分類	A 任意的事业					事業計画	平成26年度より、委託事業を縮小した。平成26年度においては、大きな問題もなかったことから、引き続き事業を実施する。事業予定として、4月にシルバ-クラブ連合会通常総会、7月にシルバ-クラブ大会及びシルバ-リハビリ指導士会10周年記念式典、10月におひさまサンサン生き生きまつりを予定している。				事業計画	シルバ-クラブ事務局を委託した社会福祉協議会と連携しつつ、各事業に向けた打ち合わせを進め、滞りなく事業・イベントを実施する。				事業費(A)	11,818千円	13,496千円	13,210千円	0千円			
執行体制	全て委託					活動実績	計画どおりに事業を実施し、シルバ-クラブ大会には1,081名、おひさまサンサン生き生きまつりには、1,950名の参加があった。				上半期活動実績					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	能力に応じた社会参加活動を通じた、高齢者の生きがいづくりと健康の保持を図るため。					成果	高齢者が一堂に会し、交流する場を設けることで高齢者の生きがいづくりに寄与できた。				上半期成果					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
						課題	おひさまサンサン生き生きまつりについては、平成27年度に会場をカビオに変更し実施したが、会場の座席や種目内容などについて見直しが必要である。				課題					地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバ-クラブ大会・・・役員功労者表彰、感謝状贈呈、講演会等 ・おひさまサンサン生き生きまつり・・・障害福祉課と合同開催。高齢者と障害者が一堂に会し、スポーツやレクリエ-ションを楽しむ。 ・シルバ-クラブ育成支援・・・年間を通じてシルバ-クラブ連合会の事務局として支援する。 					事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況		達成 <th colspan="2">事業の進捗状況</th> <td>-</td> <th colspan="2">目標の進捗状況</th> <td>-</td> <th>その他特財</th> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td> <td>0千円</td>	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況		-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
						有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				一般財源	11,818千円	13,496千円	13,210千円	0千円			
ISO 14001 環境関連性						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				人件費(B)	1,519千円	2,229千円	2,229千円				
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				正職員	従事割合	0.20人	0.30人	0.30人	時間外勤務	0.00時間	0.00時間
																臨時職員等	無	無	無				
																事業コスト(A+B)	13,337千円	15,725千円	15,439千円				
																H29年度当初積算根拠							
																H29年度の方向性				-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	30,025千円	31,882千円	30,017千円	0千円
総人件費	4,559千円	5,201千円	4,458千円	
総事業コスト	34,584千円	37,083千円	34,475千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事務事業名	02	高年齢者労働能力活用事業費補助	指標名				契約件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	その他の指標				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H26年度		H27年度	H28年度	H29年度							
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	シルバー人材センター-事業の契約件数				
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
個別計画	高年齢者福祉計画				H27年度				H28年度				事業実施コスト				H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等	高年齢者労働能力活用事業費補助金交付要綱				事業計画				事業計画				事業費(A)				11,150千円	11,150千円	11,150千円	0千円	
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績				上半期活動実績				内訳				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(直接)				成果				上半期成果				内訳				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	高齢者の生きがいの充実, 社会参加の促進及び就業機会の拡大を図り, 高齢者福祉の増進に資するため。				課題				課題				内訳				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	公益社団法人つくば市シルバー人材センターが円滑な運営ができるよう, 補助金を交付する。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				内訳				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 環境関連性	有効性				中: 適切な成果が得られている				有効性				内訳				一般財源	11,150千円	11,150千円	11,150千円	0千円
	効率性				中: 適切な費用対効果が得られている				効率性				内訳				人件費(B)	760千円	743千円	743千円	
	総合評価				B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				内訳				正職員	0.10人	0.10人	0.10人	
													内訳				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
													内訳				臨時職員等	無	無	無	
													H29年度当初積算根拠				事業コスト(A+B)	11,910千円	11,893千円	11,893千円	
													H29年度の方向性				-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	30,025千円	31,882千円	30,017千円	0千円
総人件費	4,559千円	5,201千円	4,458千円	
総事業コスト	34,584千円	37,083千円	34,475千円	

事務事業名	03	いきいきサロン事業	指標名	利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	利用者数				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名	2,700名							
総合戦略	-	-	-	実績	2,342名	2,327名	-										
個別計画	-			H27年度				H28年度				その他の指標	-				
根拠法令等	-			改善目標	利用者が固定されてしまっている講座については、利用者に個別サ-クル活動へ移行していただき、新規講座を開設する。サ-クル活動に移行については、短期集中講座を実施し段階的に移行していただき理解と今後のスム-ズな活動へ繋げる。				改善目標	交通弱者に対し出前講座の周知を図る。また、新しいメニューを企画し参加者を募る。							
事業分類	A	任意的事業	事業計画	利用者が固定されている講座については4月に短期集中講座を行うことで、個別サ-クル活動への移行を促し理解を得る。利用者が少ない講座は廃止し、新規講座を開設する。開催箇所についても、利用者の交流が持てるよう、複数個所で開催していた同一講座を統合し、実施場所を6か所から4か所に減らし、その一方で出前講座を拡大する。更にかねてから要望のあった陶芸などの短期集中型講座を新たに開催し、利用者の拡大を目指し事業を実施する。				事業計画	利用者が少ないメニューは廃止し、新規講座を開設する。開催箇所について前年同様4か所で実施し、出前講座については拡大をする。特別サロン講座を2講座程度開催し、利用者の拡大を目指し事業を実施する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
執行体制	全て委託		活動実績	市内在住おおむね60歳以上の方を対象に、4会場で実施。 老人福祉センターとよさと 市民研修センター 荳崎農村高齢者交流センター 大穂交流センター 3か月ごとにメニュー表を作成し、メニューに基づき講師を派遣しサロンを開催した。会場へ出向くことができない高齢者に対しては、出前サロンを実施した。 【実施回数】通常サロン 244回 2,081名 出前サロン 11回 155名 特別サロン 7回 91名				上半期活動実績	-				事業費(A)	4,802千円	4,574千円	4,950千円	0千円
事業の目的	高齢者の社会参加を促進し、仲間づくりや生きがいの充実を図るため。		成果	通常サロンにおいて会場を4会場に集約したことで、参加者は増加し、会場の集約化及び事業の効率化を図ることができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	老人福祉センター等を会場として市内6箇所にて、高齢者が自由に参加できる講座を曜日ごとに開催する。また、小地域に出向いて出前講座を実施している。講座は、体操・歌・絵手紙・フラダンスなど。		課題	メニューについて、人気のあるものとそうでないものに分かれるため、メニューの開発を順次行っていく必要がある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	人件費(B)	760千円	743千円	743千円			
評価	有効性	中:適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	有効性	-	評価	有効性	-	正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	
	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		効率性	-		効率性	-	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		総合評価	-		総合評価	-	臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	5,562千円	5,317千円	5,693千円		
												H29年度当初積算根拠	-	-	-		
												H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	14	老人生きがい対策に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	30,025千円	31,882千円	30,017千円	0千円
総人件費	4,559千円	5,201千円	4,458千円	
総事業コスト	34,584千円	37,083千円	34,475千円	

事務事業名	04	健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会	指標名	参加人数				指標種別	成果指標	指標の概要	予選及び市大会に参加した人数を指標とする。				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度			
戦略プラン	-	-	-	400名	450名	600名	600名	-	-	-					
総合戦略	-	-	-	実績	441名	579名	-								
個別計画	-			H27年度				H28年度							
根拠法令等	-			改善目標	芝やスピ-カ-の不調など、連絡調整で解決可能な問題に関しては、委託先の社会福祉協議会及び運動公園管理者との連絡により解消を図る。引き続き周知に力を入れつつ、事業を実施する。				改善目標	社会福祉協議会との連携のもと、競技内容を周知し参加者募集の広報活動を行う。					
事業分類	A	任意的事业	事業計画	例年スピ-カ-の不調や芝の状態などに代表される苦情もあるため、5月の大会前には社会福祉協議会及び運動公園との連絡を十分にしつつ、事業を実施する。つくば市大会に先駆けて、グラウンドゴルフのみ、北部及び南部で予選会を行う。その後、5月末から6月初めにかけての中で、つくば市大会を実施する。大会の上位入賞者は10月末日頃に行われる県大会へ出場することができる。				事業計画	市北部及び南部予選(種目：グラウンドゴルフ)を行い、その後つくば市大会(種目：グラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンク、クロッキー、輪投げ)を開催する。シルバークラブ会員や市報による市民への広報によって、参加者を募集する。						
執行体制	全て委託		活動実績	・予選会 開催日：5月18日(北部)、5月21日(南部) 種目：グラウンドゴルフ ・つくば市大会 開催日：5月28日 種目：グラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンク、輪投げ 予選会を含む参加者総数は579名。				上半期活動実績	-						
事業の目的		・高齢者に適したスポーツを通じて健康の維持増進を図るとともに、地域間の交流を深め、明るく活力のある長寿社会を推進するため。	成果	高齢者が愛好するスポーツ競技を通して、健康の保持増進や地域間の交流を図ることができた。				上半期成果	-						
事業の概要		単位シルバ-クラブや高齢者団体へ広報紙等を利用して募集、茨城県健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会の予選会として市大会(グラウンドゴルフ・ゲートボール・クロッキー・ペタンク・輪投げ)を開催する。	課題	競技によっては参加者数が減少しているものもある。				課題	-						
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
環境性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-				
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている					効率性	-				
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-				
											H29年度当初積算根拠				
												H29年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	505千円	662千円	707千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	505千円	662千円	707千円	0千円
人件費(B)	760千円	743千円	743千円	
正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人
内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
	臨時職員等	無	無	無
事業コスト(A+B)	1,265千円	1,405千円	1,450千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	75,906千円	86,310千円	96,362千円	0千円
総人件費	13,597千円	10,297千円	10,597千円	
総事業コスト	89,503千円	96,607千円	106,959千円	

事務事業名	01 敬老祝金給付事業	指標名	敬老祝金給付数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	1年以上つくば市に居住している75歳以上, 88歳, 100歳, 100歳以上の対象者への給付数					
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-				
改善目標	平均寿命が延び高齢化が進んでいるため, 対象者が年々増え, 職員が自宅を訪問し贈呈するのは難しくなっている。88歳及び101歳以上の対象者については, 自宅を訪問せず, いきいき商品券の贈呈で対応する。				他市町村の給付状況等を確認しながら対象年齢の引き上げ等を検討していく。													
個別計画	-	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。75歳以上(3,000円) 約19,400人 特別敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。88歳(10,000円) 約750人 101歳以上(20,000円) 約50人 9月に対象者宅を訪問し, 祝金(現金)を贈呈する。100歳(30,000円) 約40人 				<ul style="list-style-type: none"> 一般敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。75歳以上(3,000円) 約20,300人 特別敬老祝金 9月に簡易書留で順次対象者へ商品券を贈呈する。88歳(10,000円) 約700人 101歳以上(20,000円) 約75人 9月に対象者宅を訪問し, 祝金(現金)を贈呈する。100歳(30,000円) 約35人 											
根拠法令等	つくば市敬老祝金給付条例		活動実績	9月に簡易書留で順次商品券を贈呈した。 75歳以上 18,963人 88歳 698人 101歳以上 59人 使用期限平成27年12月31日。使用率96.04% 9月に対象者宅を訪問し祝金を贈呈した。 100歳 34人				上半期活動実績	-									
事業分類	A 任意的事業		成果	平成27年度から88歳, 101歳以上の対象者も現金給付から商品券の贈呈へ変更したため, 市内の協力事業所において活用でき, 高齢者の方々が, 買い物へ出かけるきっかけづくりとなり, 地域との交流が図られるとともに, 地域の商店街の活性化に貢献できた。				上半期成果	-									
執行体制	一部委託		課題	平均寿命が延び高齢化が進んでいるため, 対象者が年々増加しているため, 対象年齢の引き上げ等を検討する必要があると考えられる。				課題	-									
事業の目的	長寿を祝福し敬老の意を表するとともに, 福祉の増進に寄与するため。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-								
事業の概要	8月1日の基準日において, 1年以上つくば市に居住している方が対象となる。 ・一般敬老祝金 年度内75歳以上になる方へ簡易書留で商品券を贈呈する。 ・特別敬老祝金 年度内88歳及び101歳以上の方へ簡易書留で商品券を郵送する。 また, 年度内100歳になる方へ, 老人週間の前後2週間以内に福祉部・保健医療部職員が自宅を訪問し, 敬老祝金(現金)を給付する。		評価	有効性	中: 適切な成果が得られている		評価	有効性	-									
ISO 14001 関連性	-		効率性	中: 適切な費用対効果が得られている		効率性	-		-									
			総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		-									
事業実施コスト		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)		H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	内訳	国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
事業費(A)		64,730千円	72,432千円	79,749千円	0千円	県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源		64,730千円	72,432千円	79,749千円	0千円		人件費(B)		2,278千円	2,229千円	2,229千円	
正職員		従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間			臨時職員等		無	無	無	
事業コスト(A+B)		67,008千円	74,661千円	81,978千円		H29年度当初積算根拠		-					H29年度の方向性		-	理由	-	
事業実施コスト		64,730千円	72,432千円	79,749千円	0千円	事業費(A)		64,730千円	72,432千円	79,749千円	0千円		人件費(B)		2,278千円	2,229千円	2,229千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	75,906千円	86,310千円	96,362千円	0千円
総人件費	13,597千円	10,297千円	10,597千円	
総事業コスト	89,503千円	96,607千円	106,959千円	

事務事業名	02 敬老福祉大会事業				指標名	参加者数				指標種別	成果指標				指標の概要	敬老福祉大会の参加者数			
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H29年度当初	H30年度当初					
総合戦略	-	-	-	-	-	3,200人	3,300人	3,600人	3,800人	3,800人	3,800人	3,800人							
個別計画	-	-	-	-	-	3,276人	3,485人	-											
根拠法令等	-	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-				
事業分類	A 任意的事業				改善目標	多くの高齢者が参加できるように、バスの停留所の箇所等を見直す等して参加しやすい環境を整える。また、プロ芸能の内容の充実を図る。				改善目標	多くの高齢者が参加できるように、バスの停留所やルートを見直す等して参加しやすい環境を整える。また、プロ芸能の内容の充実を図る。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
執行体制	職員のみ				事業計画	平成27年9月19日につくばカピオにおいて、午前午後入替をして2回開催する予定。参加目標数 3,300人				事業計画	敬老福祉大会実施計画 5月 敬老福祉大会第1回実行委員会開催(方針決定) 7月 敬老福祉大会案内状送付 8月 返信用はがきによる参加者人数把握 バスルート確定 9月 19日 つくばカピオにて開催 11月 敬老福祉大会第2回実行委員会開催 検討結果を予算要求に反映				事業費(A)	9,913千円	13,592千円	16,183千円	0千円
事業の目的	多年にわたり社会の発展に寄与してこられた70歳以上の高齢者に対し、長寿を祝福し敬老の意を表するとともに、高齢者の健康づくりや社会参加を促進するため。				活動実績	平成27年9月19日につくばカピオにおいて、午前午後に入替をして2回実施。送迎バスを63台賃借し、カピオまでの送迎をした。バスルートについては、一部停留所を増やすなどした。プロ芸能については、2部制とし、1部で濱乃志隆さん、2部で松村和子さんによる公演を実施した。参加人数は3,485人。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	実行委員会で内容を企画協議する。広報で開催のお知らせを掲載し、該当者あてに案内状を送付し敬老福祉大会を開催する。				成果	高齢者の交流やいきがいに貢献できた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001 環境性	-	-	-	-	課題	今後、高齢者の増加により開催場所、駐車場の確保等が難しくなっている。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
					評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		一般財源	9,913千円	13,592千円	16,183千円	0千円		
						効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		人件費(B)	7,522千円	7,325千円	7,625千円			
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		正職員	0.60人	0.60人	0.60人			
													時間外勤務	1093.00時間	1073.40時間	1186.00時間			
													臨時職員等	有	有	有			
													事業コスト(A+B)	17,435千円	20,917千円	23,808千円			
													H29年度当初積算根拠	-	-	-			
													H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	75,906千円	86,310千円	96,362千円	0千円
総人件費	13,597千円	10,297千円	10,597千円	
総事業コスト	89,503千円	96,607千円	106,959千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	15	敬老事業に要する経費

事務事業名	03	長寿をたたえる事業	指標名	対象人数				指標種別	活動結果指標											
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	年度内に誕生日を迎える100歳の対象者人数								
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
根拠法令等	長寿をたたえる事業実施要項		実績	857人	34人	-														
事業分類	A 任意的事业		H27年度				H28年度				その他の指標	-								
執行体制	職員のみ		改善目標	対象者が100歳のみとなったため、贈呈については老人週間中に行うよう調整する。				改善目標	本人の居所を確認し、できる限り本人へ贈呈する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初			
事業の目的	高齢者の長寿をたたえ、高齢者を敬愛する意識の啓発を図るため。		事業計画	9月に対象者約40人へ直接訪問し贈呈する。				事業計画	9月に対象者約35人へ直接訪問し、ほう状および記念品を贈呈する。				事業費(A)	1,263千円	286千円	430千円	0千円			
事業の概要	8月1日現在つくば市に住所を有し100歳の誕生日を年度内に迎える方に対し、老人週間の前後2週間以内に福祉部・保健医療部職員が自宅を訪問し、ほう状等を贈呈する。		活動実績	9月に対象者34人へ直接訪問し、ほう状および記念品を贈呈した。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001 環境関連性	-	-	成果	長寿を祝福し、敬老の意を表し、高齢者のいきがいに貢献できた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
			課題	対象者が、入院や施設入所等により住所地に住んでいない場合があり記念品贈呈が困難な場合もある。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	5,060千円	1,029千円	1,173千円	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
			評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		人件費(B)	3,797千円	743千円	743千円	一般財源	1,263千円	286千円	430千円	0千円	
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		内訳	正職員	従事割合	0.50人	0.10人	0.10人	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		臨時職員等	無	有	無	H29年度当初積算根拠	-	-	-	-	
															H29年度の方向性	-	理由	-	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,552千円	8,390千円	8,939千円	0千円
総人件費	2,659千円	2,898千円	0千円	
総事業コスト	11,211千円	11,288千円	8,939千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

事務事業名	01	高齢者用福祉タクシー-助成事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	交付者数		
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-	-	-	1,500名	1,600名	1,650名	1,700名	-	-	-					
総合戦略	-	-	-	実績	1,458名	1546名	-								
個別計画	高齢者福祉計画			H27年度				H28年度				その他の指標	-		
根拠法令等	つくば市高齢者タクシー-利用料金助成要綱			改善目標	高齢者在宅福祉の事業案内が毎年度4月の広報紙に掲載されることを窓口対応時にも周知する。				改善目標	協力店に対し、助成券を預かる際の確認について周知徹底する。					
事業分類	A 任意的事業			事業計画	申請を受付し、該当者には、助成券を郵送する。協力店の受付は随時行う。				事業計画	助成券の申請を受付し、該当者には、助成券を郵送にて送付する。協力事業所の受付は随時行う。					
執行体制	職員のみ			活動実績	申請を受付し、該当者には助成券を郵送した。協力事業所の受付は随時行なった。				上半期活動実績	-					
事業の目的	65歳以上のひとり暮らし及び70歳以上の高齢者世帯、または70歳以上で市民税非課税世帯のタクシー-運賃の初乗運賃を助成することにより、高齢者の外出支援及び社会参加を促すため。			成果	タクシーの初乗り運賃を助成することで、外出支援(通院・買い物等)や閉じこもり予防に役立った。				上半期成果	-					
事業の概要	外出時に利用するタクシー-の初乗運賃を助成する。申請を受け、審査し該当者に12枚の助成券を交付する。			課題	利用者が期限切れの助成券を使用してしまうことがある。				課題	-					
			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
ISO 14001	環境性	大気汚染の防止	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-						
	環境性	郵送物が滞りなく受け取られることにより、再配達にかかる車などの運用がなくなる。	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
			評価					評価							
												H29年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	6,070千円	6,075千円	6,422千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	6,070千円	6,075千円	6,422千円	0千円
人件費(B)	760千円	743千円	0千円	
正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.00人
時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
臨時職員等	有	有	-	
事業コスト(A+B)	6,830千円	6,818千円	6,422千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,552千円	8,390千円	8,939千円	0千円
総人件費	2,659千円	2,898千円	0千円	
総事業コスト	11,211千円	11,288千円	8,939千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

事務事業名	02	あん摩, マッサージ, 指圧, はり及びきゅう施術費助成事業	指標名				指標種別		活動結果指標		指標の概要	交付者数						
			助成券交付者数	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-	-	-	-	700名	700名	800名	800名	-	-	-							
総合戦略	-	-	-	-	779名	767名	-											
個別計画	高齢者福祉計画				H27年度				H28年度									
根拠法令等	つくば市あん摩, マッサージ, 指圧, はり及びきゅう施術費助成要綱				改善目標	他の助成券に比べると, 利用者の伸びは大きくないので, 事業周知を行う。利用できる協力店は, 助成券の末に一覧として掲載しているので, その点を申請時に再度周知, 案内することで助成券の利用拡大を促す。				改善目標	助成券の郵送先を確実に受け取りができる人に設定することで, 再送や受取人の助成券の紛失というような事態を減らす。							
事業分類	A 任意的事業				事業計画	申請を受付し, 該当者には助成券を郵送する。協力店の受付は随時行う。さらに, 利用者増加のため周知を行い, 助成券の利用拡大を図る。				事業計画	助成券の申請を受付し, 該当者には, 助成券を郵送にて送付する。協力店の受付は随時行う。							
執行体制	職員のみ				活動実績	申請を受付し, 該当者には助成券を郵送した。協力店の受付は随時行なった。				上半期活動実績	-							
事業の目的	あん摩, マッサージ等の施術費を助成することにより, 高齢者の健康維持に寄与するため。				成果	あん摩, マッサージ等の施術費を助成することにより, 高齢者の健康維持に寄与することができた。				上半期成果	-							
事業の概要	70歳以上の高齢者に対し, あん摩, マッサージ, 指圧, はり及びきゅう施術を受ける際の費用の一部を助成する(年間最大1,000円券×8枚)。健康保険法, その他の法令により医療に関する給付として行われているものを除く。				課題	利用者の助成券の紛失が多い。				課題	-							
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-						
ISO 14001	環境性	大気汚染の防止				有効性	中: 適切な成果が得られている				有効性	-						
	環境性	郵送物が滞りなく受け取られることにより, 再配達にかかる車などの運用がなくなる。				効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
					総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
													H29年度当初積算根拠					
														H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	16	老人援護に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	8,552千円	8,390千円	8,939千円	0千円
総人件費	2,659千円	2,898千円	0千円	
総事業コスト	11,211千円	11,288千円	8,939千円	

事務事業名	03	ねたきり高齢者理美容料助成事業	指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	交付者数
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標			
戦略プラン	-	-	-	150名	160名	160名	160名	160名	160名	160名	160名			
総合戦略	-	-	-	実績	141名	150名	-							
個別計画	高齢者福祉計画		改善目標	H27年度 他の助成券事業と比較すると交付者数が少ないので、事業周知を行う。				改善目標	H28年度 利用者が少ないので、事業周知を行い、利用できる協力事業店の拡大を行う。助成券の未に一覧として掲載しているため、その点を申請時に再度周知、案内することで助成券の利用拡大を促す。助成券の郵送先を確実に受け取りができる人に設定することで、再送や受取人の助成券の紛失というような事態を減らす。					
根拠法令等	つくば市ねたきり高齢者理美容料助成事業実施要綱		事業計画	申請を受付し、該当者には助成券を郵送する。協力店の受付は随時行う。				事業計画	助成券の申請を受付し、該当者には、助成券を郵送にて送付する。協力店の受付は随時行う。					
事業分類	A 任意的事業		活動実績	申請を受付し、該当者には助成券を郵送した。協力店の受付は随時行なった。				上半期活動実績						
執行体制	職員のみ		成果	ねたきりの高齢者に対し、居宅において受ける理容及び美容料金の一部を助成したことで、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与できた。				上半期成果						
事業の概要	ねたきりの高齢者に対し、その居宅において受ける理容及び美容料金の一部を助成し、利用者の衛生的で健康的な生活を支援すると共に、家族の負担を軽減し、在宅高齢者福祉の増進に寄与するため。		課題	利用者が期限切れの助成券を使用してしまうことがある。				課題						
			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
ISO 14001	環境性	大気汚染の防止	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性						
	環境性	郵送物が滞りなく受け取られることにより、再配達にかかる車などの運用がなくなる。	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性						
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価						
			事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	560千円	532千円	604千円	0千円		
			内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
				一般財源	560千円	532千円	604千円	0千円						
				人件費(B)	1,139千円	1,412千円	0千円							
			内訳	正職員	従事割合	0.15人	0.19人	0.00人						
				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間							
				臨時職員等	有	有	有							
				事業コスト(A+B)	1,699千円	1,944千円	604千円							
			H29年度当初積算根拠											
			H29年度の方向性	-	理由	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	17	シルバ-クラブ助成に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	11,371千円	11,067千円	11,356千円	0千円
総人件費	1,519千円	2,229千円	2,229千円	
総事業コスト	12,890千円	13,296千円	13,585千円	

事務事業名	01 シルバ-クラブ育成事業				指標名	単位シルバ-クラブ数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市内にある単位シルバ-クラブの団体数			
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
					150団体	140団体	140団体	140団体	-	-	-					
					実績	140団体	134団体	-								
総合戦略					H27年度				H28年度				その他の指標	-		
					改善目標	単位シルバ-クラブ及び会員数が減少しないように、社会福祉協議会と協力して対策を講じつつ、若手リ-ダ-を育成する。				改善目標	減少しているシルバ-クラブの会員数及びクラブ数に歯止めをかけるため、若手の会員を中心として活性化に向けた具体的な提案・対策を講じる。					
個別計画	高齢者福祉計画				事業計画	シルバ-クラブ会員の高齢化に伴い、会員数が減少しているため、若手会員の加入促進及び若手リ-ダ-を育成する。				事業計画	シルバ-クラブ会員の高齢化に伴い、会員数が減少しているため、引き続き若手会員の加入促進及び若手リ-ダ-を育成する。					
根拠法令等	単位シルバ-クラブ補助金交付要項 シルバ-クラブ連合会補助金交付要項					活動実績	単位シルバ-クラブ134団体に対し、7,995千円及びシルバ-クラブ連合会に対して3,000千円を交付し、育成支援のための会合を行った。				上半期活動実績					
事業分類	E 補助金・負担金事業				成果		単位クラブでは、定期的に会員同士の交流を深め、各種スポーツ活動を通じた生きがいと健康づくり、仲間づくりを行った。連合会では、スポーツ大会の開催やシルバ-クラブ大会の開催により、貢献者を表彰するなどして、意識の高揚を図った。また、シルバ-クラブ活動検討委員会をつくり、自分たちで問題点を話し合い、解決に取り組んだ。					上半期成果				
執行体制	補助金(直接)					課題	未だに単位シルバ-クラブ及び会員数の減少があるため、引き続き対策を講じて行く必要がある。				課題					
事業の目的	地域での仲間づくり、健康の保持、知識や経験を活かした能力の発揮、社会活動への参画と貢献など、いきいきとした高齢期の生活づくりを支援するため。				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況		達成		事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	
	事業の概要	補助金を交付し、各単位シルバ-クラブ及びシルバ-クラブ連合会の活動を支援していく。会員数100名以上67,600円、50名以上100名未満62,600円、30名以上50名未満57,600円、30名未満20,000円を交付。連合会に対しては、3,000,000円交付。				有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-		H29年度当初積算根拠		
ISO 14001 関連性		環境性				効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-		H29年度の方向性	-	理由
					総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-					

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	11,371千円	11,067千円	11,356千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	2,497千円	2,409千円	2,409千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	8,874千円	8,658千円	8,947千円	0千円
人件費(B)	1,519千円	2,229千円	2,229千円	
正職員	従事割合	0.20人	0.30人	0.30人
内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
臨時職員等		有	有	有
事業コスト(A+B)	12,890千円	13,296千円	13,585千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,031千円	1,041千円	3,825千円	0千円
総人件費	760千円	1,486千円	743千円	
総事業コスト	1,791千円	2,527千円	4,568千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	18	ふれあい元気広場管理に要する経費

事務事業名	01	ふれあい元気広場管理運営事業	指標名	施設貸出延べ団体数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	団体への総貸出延べ団体数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	308団体	442団体	442団体	440団体	440団体	440団体	440団体				
総合戦略	-	-	-	実績	442団体	363団体	-							
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度						
根拠法令等	つくば市ふれあい元気広場条例・条例施行規則			改善目標	-				改善目標	多くの高齢者がふれあい元気広場でランドゴルフ等のニュースポーツができるよう施設を整備する。				
事業分類	A 任意的事業			事業計画	・ふれあい元気広場の芝・除草・施肥・駐車場・裸地・生垣手入れ・薬剤散布等の維持管理をする。 ・高齢福祉課窓口において施設の貸出を行う。				事業計画	・大会等のが開催できるように芝を拡張し、ふれあい元気広場の整備を行う。 ・ふれあい元気広場の芝・除草・施肥・駐車場・裸地・生垣手入れ・薬剤散布等の維持管理をする。 ・高齢福祉課窓口において施設の貸出を行う。				
執行体制	一部委託			活動実績	・ふれあい元気広場の芝・除草・施肥・駐車場・裸地・生垣手入れ・薬剤散布等の維持管理を実施した。 ・高齢福祉課窓口においてふれあい元気広場の貸出を実施した。				上半期活動実績	-				
事業の目的	クロック-やその他のニュー-スポ-ツを通して、高齢者の相互交流の促進を図ることにより、高齢者の健康を増進し生きがい意欲を高めるため。			成果	利用者が気持ちよく施設を利用することができた。ランドゴルフなどのニュースポーツを通して、高齢者の相互交流や健康を増進し、いきがい意欲を高めることができた。				上半期成果	-				
事業の概要	施設の管理 ・ふれあい元気広場のクロック-コート・ニュー-スポーツコートの維持管理を行う。 ・ふれあい元気広場の休憩所の維持管理を行う。 ・高齢福祉課窓口において施設の貸出を行う。 ・作岡財産区から無償で土地の借用をし、整備管理を行っている。			課題	より多くの高齢者が利用するためには、施設や駐車場の拡充が望まれている。				課題	-				
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H29年度の方向性	理由	-		
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	1,031千円	1,041千円	3,825千円	0千円	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
					その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	一般財源	1,031千円	1,041千円	3,825千円	0千円
					人件費(B)	760千円	1,486千円	743千円		正職員	従事割合	0.10人	0.20人	0.10人
										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
										臨時職員等	無	無	無	
					事業コスト(A+B)	1,791千円	2,527千円	4,568千円		H29年度当初積算根拠	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	19	食事サ-ビスに要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	6,449千円	6,558千円	6,613千円	0千円
総人件費	3,797千円	2,972千円	2,972千円	
総事業コスト	10,246千円	9,530千円	9,585千円	

事務事業名	01 宅配食事サ-ビス事業				指標名	利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	申請後、訪問調査を行い、年度末現在本事業を継続して行っている方を利用者数として数える。				
戦略プラン	-	-	-	-	200名	280名	290名	300名	-	-	-						
総合戦略	-	-	-	-	実績	207名	124名	-									
個別計画					H27年度				H28年度				その他の指標				
					改善目標	市の補助により安くお弁当が届く事業ではなく、安否確認を兼ねた事業である旨を重視しつつ、事業内容の案内を工夫して行う。				改善目標	安否確認のための手渡しの原則がないがしるにされている傾向があるため、事業の目的を申請時や調査時に再認識してもらい共有を進める。						
根拠法令等	つくば市宅配食事サ-ビス実施要綱				事業計画	途中で事業の実施を中止する方もいるが、一方で申請者は増加している。申請を受付した際には、迅速な事業実施ができるよう、申請者への連絡調整を速やかに行い、事業の実施及び安否確認が遅れることのないようにする。また、訪問調査の際には、手渡しの原則についての説明を徹底することで、安否確認の側面がおろそかになることのないようにする。事業の流れとしては、申請受付し、対象者の家に訪問調査を行った後に、事業の実施を決定するという流れになっている。				事業計画	年間を通じて申請を受付し、調査を行い、利用拡大を進めていく。						
事業分類	A 任意的事業				活動実績	台帳の整理を行い、長期間利用なしの対象者の状況を確認した。また、平成27年度で新規に申請された方52名のうち、39名の方が年度末まで継続して利用をした。				上半期活動実績							
執行体制	一部委託				成果	業者がきざみ食なども対応可能なので、調査の際にはその点に留意しつつ、柔軟な対応を行い、健康保持と安否確認に寄与できた。				上半期成果							
事業の目的	買物及び調理が困難な高齢者に夕食を配食することにより、ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の安否確認・健康保持を図るため				課題	利用者に安否確認のための手渡しが軽視され、安否確認の目標達成ができないため再度認識してもらう必要がある。				課題							
事業の概要	ひとり暮らし・高齢者世帯の高齢者に、高齢者向け配食サ-ビス事業所で調理した栄養バランスの取れた夕食を希望の曜日に配食する。配食の際、利用者の安否確認が取れない場合や異変発生時は、市職員が緊急連絡先に連絡・対応する。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-					
ISO 14001 環境性					評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-					
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					
													事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
													事業費(A)	6,449千円	6,558千円	6,613千円	0千円
													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
													一般財源	6,449千円	6,558千円	6,613千円	0千円
													人件費(B)	3,797千円	2,972千円	2,972千円	
													正職員	従事割合	0.50人	0.40人	0.40人
													正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
													臨時職員等	有	有	有	
													事業コスト(A+B)	10,246千円	9,530千円	9,585千円	
													H29年度当初積算根拠				
													H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	7,280千円	264千円	4,540千円	0千円
総人件費	7,593千円	11,142千円	11,142千円	
総事業コスト	14,873千円	11,406千円	15,682千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	計画・施設係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	22	高齢者福祉計画の策定に要する経費

事務事業名	01	つくば市高齢者福祉計画事業	指標名	会議の開催回数				指標種別	活動結果指標	指標の概要				
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度			
戦略プラン	-	-	-	6回	2回	2回	6回	2回	2回	6回	高齢者福祉推進会議の開催回数			
総合戦略	-	-	-	実績	6回	2回	-							
個別計画	老人福祉計画, 介護保険事業計画			H27年度				H28年度						
根拠法令等	老人福祉法, 介護保険法			改善目標	-				改善目標	第6期の高齢者福祉推進会議で委員から出た意見を活かし, 平成28年11月開催予定の高齢者福祉推進会議までにアンケートの調査対象者や項目の見直しを行う。				
事業分類	C 義務的事業			事業計画	高齢者福祉推進会議を開催し, 計画の進捗状況进行评估する。会議は, 平成27年6月に1回, 12月に1回開催予定。				事業計画	H28.6 広報紙へ委員一般公募の掲載 H28.7 高齢者福祉推進会議委員の決定 H28.9 第1回高齢者福祉推進会議開催 H28.11 第2回高齢者福祉推進会議開催 H28.12 アンケート調査 H29.3 第3回高齢者福祉推進会議開催				
執行体制	一部委託			活動実績	・高齢者福祉推進会議の開催(6月2日, 3月1日) ・高齢者福祉推進会議に係る専門部会の開催(6月2日, 11月20日, 3月1日) 緊急短期入所に係る専門部会の開催(6月2日, 7月13日, 10月6日, 12月1日, 3月1日)				上半期活動実績	-				
事業の目的	高齢者福祉施策の推進を図るための計画を策定するため。			成果	平成27年度は高齢者福祉推進会議を2回開催し, 1回目では第6期の計画策定の際の反省点等について委員から意見をいただき, 2回目では第6期計画の進捗状況に対する意見及び各専門部会の結果報告を行っていた。第7期計画に向けて, 課題等をまとめることができた。				上半期成果	-				
事業の概要	老人福祉及び介護保険の一体的な展開が図られるように「つくば市高齢者福祉計画」を策定する。			課題	ニーズ調査等のアンケート対象や項目について, 介護をする側の方への調査をより詳しく行う必要がある。				課題	-				
ISO 14001	-	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている				有効性	-				
環境	-	-	評価	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
関連性	-	-	評価	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				
										事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
										事業費(A)	7,280千円	264千円	4,540千円	0千円
										国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
										県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
										地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
										その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
										一般財源	7,280千円	264千円	4,540千円	0千円
										人件費(B)	7,593千円	11,142千円	11,142千円	
										正職員	従事割合	1.00人	1.50人	1.50人
										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
										臨時職員等	有	有	有	
										事業コスト(A+B)	14,873千円	11,406千円	15,682千円	
										H29年度当初積算根拠	-			
										H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	計画・施設係, 在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	282,762千円	62,691千円	144,526千円	0千円
総人件費	26,956千円	26,073千円	23,027千円	
総事業コスト	309,718千円	88,764千円	167,553千円	

事務事業名	01 地域密着型サ-ビス整備費等補助事業		指標名	地域密着型介護老人福祉施設の定員数				指標種別	成果指標			指標の概要		
	1	1		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		H30年度	H31年度	H32年度		高齢者福祉計画にて計画されている市内地域密着型介護老人福祉施設の定員数	
戦略プラン	1	1	高齢者支援体制の整備	87人	116人	116人	145人	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	実績	87人	116人	-							
個別計画	つくば市高齢者福祉計画		H27年度				H28年度				その他の指標			
			改善目標	公募時期を早めるため、下記の日程を目標とする。 前回(平成25年度) 7月公募内容決定、10月から申込受付開始 平成27年度 5月までに公募内容決定、8月から申込受付開始				改善目標	計画に基づき平成29年度から施設を開設できるよう、工事の進捗管理を行うとともに、事業者に対し補助金を交付し施設整備を支援する。					
根拠法令等	-		事業計画	高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域でサ-ビスの利用及び提供が完結できるよう、地域密着型サ-ビス拠点施設(事業所)整備するため事業者の公募を行う。 公募要項を平成27年5月に公表、申込受付を8月から開始する。				事業計画	地域密着型特別養護老人ホームの整備補助にあたり、補助金交付要項を策定し、事業者に対し施設整備費及び開設準備経費を補助する。					
事業分類	E 補助金・負担金事業		活動実績	豊里地区にて地域密着型特別養護老人ホームを1施設整備するため、事業者の公募を実施した。 事業者の選定にあたり、地域密着型サ-ビス等整備事業者選定委員会を3回開催し、書類審査及び現地確認のうえ、1事業者選定した。				上半期活動実績	-					
執行体制	職員のみ		成果	平成28年度に地域密着型特別養護老人ホームを整備する事業者を1事業者決定した。				上半期成果	-					
事業の目的	つくば市高齢者福祉計画に基づき介護施設を整備し、高齢者福祉の向上を図るため。		課題	第6期つくば市高齢者福祉計画に基づく地域密着型サ-ビスの整備について検討が必要。				課題	-					
	事業の概要			つくば市高齢者福祉計画の推進にあたり、公募による事業者選定を行う。また、地域密着型サ-ビス拠点整備を促進するため、県の施設整備補助金を活用する。										
ISO 14001 関連性	-		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-		
	評価	有効性		中:適切な成果が得られている		評価	有効性		-					
	-		効率性		中:適切な費用対効果が得られている		効率性		-		H29年度の方向性	-	理由	-
	-		総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	計画・施設係、在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	282,762千円	62,691千円	144,526千円	0千円
総人件費	26,956千円	26,073千円	23,027千円	
総事業コスト	309,718千円	88,764千円	167,553千円	

事務事業名		指標名				指標種別		活動結果指標		指標の概要	
02 施設指定及び指導監査業務		指導検査及び監査事業所数				H26年度		H27年度		指導検査及び監査を行う事業所数	
戦略プラン		目標値				40事業所		40事業所			
実績		47事業所				60事業所					
総合戦略		H27年度				H28年度				その他の指標	
改善目標		指導監査プロジェクトチームにおいて決定する検査の年間スケジュールに基づき検査を行う。				指導監査プロジェクトチームにおいて、年間の検査スケジュールを決定し計画的に検査を行う。					
個別計画		事業計画				活動実績				事業実施コスト	
つくば市高齢者福祉計画		地域密着型サービス運営委員会を開催し、地域密着型サービス施設(事業所)の新規指定2件、更新指定2件を行う。また、40件の介護サービス事業者の指導検査を実施する。				地域密着型サービス運営委員会を2回開催し、地域密着型サービス施設(事業所)の新規指定2件、更新指定2件を行った。また、介護サービス事業所の指導検査を60件実施した。				H26年度決算	
根拠法令等		介護保険法				介護保険法				H27年度決算	
事業分類		C 義務的事業				C 義務的事業				H28年度当初	
執行体制		職員のみ				職員のみ				H29年度当初	
事業の目的		成果				課題				事業費(A)	
居宅介護サービス事業所及び地域密着型サービス事業所の指定及び指導監督を行い、適正な介護保険サービスの充実を図るため。		法令・条例等に規程された設備基準・運営基準を満たした事業所を指定し、それら事業所に対し実地指導を行うことによって、適正なサービスを市民に提供することができた。				居宅サービス事業所の指導について、さらに機動的かつきめ細かに行うにあたり、事業所数が多いため検査の日程調整が難しい。				159千円	
事業の概要		事業の進捗状況				事業の進捗状況				国庫支出金	
事業所の指定申請による指定を行う際、書類の審査及び現地確認等を実施したうえで指定する。指定後については社会福祉課、介護保険課と共同で定期的な監査を行う。		達成				達成				0千円	
ISO 14001		評価				評価				県支出金	
環境関連性		有効性 中:適切な成果が得られている				有効性 -				0千円	
		効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -				地方債	
		総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -				0千円	
内訳		内訳				内訳				その他特財	
正職員		従事割合 1.50人				従事割合 2.00人				0千円	
臨時職員等		時間外勤務 0.00時間				時間外勤務 0.00時間				0千円	
		有				有				一般財源	
		有				有				159千円	
H29年度当初積算根拠		H29年度当初積算根拠				H29年度当初積算根拠				人件費(B)	
		11,549千円				15,054千円				11,390千円	
		13,369千円				14,856千円				11,142千円	
		理由				理由				理由	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	282,762千円	62,691千円	144,526千円	0千円
総人件費	26,956千円	26,073千円	23,027千円	
総事業コスト	309,718千円	88,764千円	167,553千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	計画・施設係, 在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	02	23	老人福祉施設整備に要する経費

事務事業名		03 高齢者健康遊具事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要		-			
戦略プラン		-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-					
総合戦略		-		実績	-	-	-	/	/	/	/	-		-					
個別計画		-		改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標		-				
根拠法令等		-			事業計画	健康遊具を最後に設置してから3年が過ぎたので、講習会は実施せず、自主活動に切り替えていく。				事業計画				継続して健康遊具の安全確保を図り、利用率を向上させる。					
事業分類		B 任意的事業(小規模)		活動実績	事業計画				事業計画				事業実施コスト		-				
執行体制		一部委託			活動実績	安全のため、保守点検と修繕のみ実施する。				事業計画				点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施する。					
事業の目的		自由に出入りできる公園に健康遊具を設置することで、運動習慣を身につけてもらい、高齢者の外出支援と健康維持を図る。		成果	上半期活動実績				上半期活動実績				人件費(B)		-				
事業の概要		二の宮公園, 荃崎運動公園, 大池公園, 梅園公園, 谷田部多目的広場, 花畑近隣公園, 川口公園の市内7か所に設置してある高齢者健康遊具の点検及び修繕を行う。			成果	点検事業者による健康遊具市内7か所の点検を実施した。				上半期成果				-					
ISO 14001		-		評価	事業の進捗状況				事業の進捗状況				H29年度当初積算根拠		-				
環境性		-			評価	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度の方向性		-	理由	-		
				有効性	中:適切な成果が得られている				有効性				-						
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性				-						
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	38,587千円	43,386千円	42,237千円	0千円
総人件費	4,558千円	3,715千円	2,972千円	
総事業コスト	43,145千円	47,101千円	45,209千円	

事務事業名	01 在宅高齢者紙おむつ購入費助成事業				指標名	助成券交付者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	申請を受け、交付条件を満たした人へ助成券を郵送にて交付する。		
総合戦略	-	-	-	-	-	2139人	2250人	-					その他の指標	-	
個別計画	-	-	-	-	-										
根拠法令等	つくば市在宅要介護高齢者等紙おむつ購入費助成規則				事業計画	H27年度				H28年度					
	事業分類	A 任意的事業				改善目標	-				改善目標	助成対象用品については、購入ニーズ調査をする。			
執行体制	職員のみ				活動実績	事業計画	利用者の増加により、本事業では該当にならない方の申請も増加している。そのため、再度制度の周知に力を入れつつ、滞りのないよう事業を実施する。事業内容としては、申請受付し、該当になった方へ、助成券を郵送にて送付する。また、新規の協力店の受付を随時行う。				事業計画	日常生活において紙おむつを使用している、65歳以上で要介護1以上の在宅高齢者を対象に、年1回、紙おむつ購入費助成券を発行する。助成額：1,000円券×24枚、又は1,000円×48枚(要介護4・5認定者で市民税非課税世帯に属する場合)。申請時期によって給付枚数は少なくなる			
	事業の目的	紙おむつを必要としている高齢者に対し、その購入費用の一部を助成することにより、当該高齢者及び要介護者を抱える家族の経済的負担軽減を図るため。				上半期活動実績	助成券交付者数：2250人。65歳以上で要介護1以上の在宅高齢者を対象に、年1回、1,000円券×24枚又は48枚を限度として、紙おむつ購入費助成券を発行した。				上半期成果	-			
事業の概要		日常生活において紙おむつを使用している65歳以上で要介護1以上の在宅高齢者に対し、年間1回紙おむつ購入費助成券を発行する。助成券は1,000円券×24枚、要介護4・5で市民税非課税世帯に属する場合は同券を48枚を限度に交付する。なお、申請時期により、給付枚数が少なくなる。				成果	紙おむつを必要とする高齢者及びその家族の経済的負担を軽減できた。				課題	介護用シート等、紙おむつに準ずる品の購入ニーズがあり、助成対象用品について検討の余地がある。			
	ISO 14001 環境性	-				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-
評価		有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-							
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			H29年度の方向性	-	理由	-	
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	37,964千円	40,079千円	42,031千円	0千円
国庫支出金	14,995千円	15,630千円	16,392千円	0千円
県支出金	7,497千円	7,815千円	8,196千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	7,497千円	7,815千円	8,196千円	0千円
一般財源	7,975千円	8,819千円	9,247千円	0千円
人件費(B)	760千円	1,486千円	1,486千円	
正職員	従事割合	0.10人	0.20人	0.20人
内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
	臨時職員等	有	有	有
事業コスト(A+B)	38,724千円	41,565千円	43,517千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	38,587千円	43,386千円	42,237千円	0千円
総人件費	4,558千円	3,715千円	2,972千円	
総事業コスト	43,145千円	47,101千円	45,209千円	

事務事業名	02	はいかい高齢者家族支援サ-ビス事業	指標名	利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要		
			利用者数	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度	
戦略プラン	-	-	-	5名	9名	10名	10名	-	-	-		
総合戦略	-	-	-	8名	2名	-						
個別計画	-			H27年度				H28年度				
根拠法令等	はいかい高齢者家族支援サ-ビス事業実施要綱		事業計画	はいかい行動の見られる65歳以上の認知症の高齢者を介護している家族に対し、位置情報端末機等を貸与及び位置情報の提供を行い、介護を行う家族の負担の軽減ができるよう引き続き事業を行う。				事業計画	広報活動に力をいれ、事業の周知を図るとともに、より利便性の高い機器やシステム等の情報を随時収集し、導入を含めて検討する。			
事業分類	A	任意的事業	活動実績	延べ利用者2名(平成28年3月31日現在)施設入所・外出ができなくなった等の理由で、8名の利用者のうち6名が解約届けを提出した。				上半期活動実績				
執行体制	一部委託		成果	はいかいをした際に、早急に保護することができた。また、はいかい高齢者を在宅で介護する家族の精神的な不安の軽減ができた。				上半期成果				
事業の目的	はいかい行動の見られる65歳以上の認知症の高齢者を介護している家族に対し、位置情報端末機等を貸与及び位置情報の提供を行い、はいかい高齢者の保護を支援することにより、介護を行う家族の負担の軽減を図るため。		課題	利用者が少ないため、事業内容の見直し等も含めて検討する必要がある。				課題				
事業の概要	はいかい行動の見られる方に、位置情報端末機を携帯していただき、万が一、はいかいしてしまった場合に、位置情報等を特定し知らせることで、家族が保護できるよう支援していく。家族等から申請を受け、市で対象条件を確認して決定後機器の貸与を実施する。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
ISO 14001	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-	
環境性	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-	
	-	-	評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価	-	
			その他の指標				-					
			事業実施コスト				H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初		
			事業費(A)				23千円	0千円	164千円	0千円		
			国庫支出金				9千円	0千円	63千円	0千円		
			県支出金				4千円	0千円	31千円	0千円		
			地方債				0千円	0千円	0千円	0千円		
			その他特財				4千円	0千円	31千円	0千円		
			一般財源				6千円	0千円	39千円	0千円		
			人件費(B)				760千円	743千円	743千円			
			正職員				従事割合	0.10人	0.10人	0.10人		
			時間外勤務				0.00時間	0.00時間	0.00時間			
			臨時職員等				無	無	無			
			事業コスト(A+B)				783千円	743千円	907千円			
			H29年度当初積算根拠				-					
			H29年度の方向性				-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	38,587千円	43,386千円	42,237千円	0千円
総人件費	4,558千円	3,715千円	2,972千円	
総事業コスト	43,145千円	47,101千円	45,209千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

事務事業名	03 家族介護者交流事業				指標名	参加者数				指標種別	-							
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要					
				実績	33名	26名	-					日帰り旅行への参加者数(～H26年度) 交流会への参加者数(平成27年度～)						
総合戦略				H27年度				H28年度				その他の指標						
				改善目標	介護者のリフレッシュに重きを置いて日帰り旅行をおこなってきたが、介護の現場やサービスに関して、介護者に在宅介護についての勉強会の要素に重きを置いた旅行行程を検討する。				改善目標	多くの方に参加していただけるような交流会の内容を検討する。								
個別計画				事業計画				事業計画				事業実施コスト						
				引き続き秋の日帰り旅行を行い事業を実施する。事業内容としては、日帰り旅行でリフレッシュを図りながら、県内介護施設等の見学を盛り込み、介護の現場に生かしてもらうようにする。介護保険のサービスを利用しながらの在宅介護について考えてもらうきっかけとなる事業とする。				これまでの心身のリフレッシュを重視した日帰り旅行や公演会を行ってきたが、介護者間の交流に重きを置いた講座等を行う。				H26年度決算						
根拠法令等				介護保険法				活動実績				H27年度決算						
				介護者を一時的に介護から解放し、身体的・精神的負担の軽減を図るため。				介護者・介護経験者を対象に、平成28年1月29日に濱乃志隆さんを招いた公演会及び交流会を行い、介護者のリフレッシュを図った。26名の参加があった。				H28年度当初						
事業分類				A 任意的事業				上半期活動実績				H29年度当初						
執行体制				全て委託				上半期成果				H29年度当初積算根拠						
事業の目的				成果				課題				事業費(A)						
				介護者を一時的に介護から解放し、日頃の介護疲れを癒し、心身のリフレッシュや、介護者同士の交流を深めることができた。				ショートステイやデイサービスの利用が浸透し、心身のリフレッシュは、各家庭においても行うことができるようになってきている。参加者が集まりにくい状況も見られ、介護者が求めている内容がどのようなものか把握する必要がある。				146千円						
事業の概要				事業の進捗状況				事業の進捗状況				国庫支出金						
				達成				目標の進捗状況				57千円						
				未達成								30千円						
ISO 14001 関連性				評価				評価				地方債						
				有効性				有効性				0千円						
				効率性				効率性				30千円						
				総合評価				総合評価				その他特財						
				B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施								8千円						
												一般財源						
												31千円						
												人件費(B)						
												2,278千円						
												正職員						
												従事割合						
												0.30人						
												時間外勤務						
												0.00時間						
												臨時職員等						
												無						
												事業コスト(A+B)						
												2,424千円						
												901千円						
												785千円						
												H29年度の方向性						
												理由						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	02	02	12	高齢者生活支援に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	38,587千円	43,386千円	42,237千円	0千円
総人件費	4,558千円	3,715千円	2,972千円	
総事業コスト	43,145千円	47,101千円	45,209千円	

事務事業名	04	高齢者地域健康づくり(音楽・体操・映像)事業	指標名	利用回数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	生活機能向上機器が利用された回数	
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
戦略プラン	-	-	-	150回	400回	-	-	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	実績	198回	410回	-							
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-	
根拠法令等	平成26年度つくば市高齢者地域健康づくり事業実施要項			改善目標	生活機能向上機器台数増を図り、利用者の増加による高齢者の健康増進を推進する。				改善目標	-				
事業分類	A 任意的事業			事業計画	生活機能向上機器を9台導入 (設置場所) いきいきプラザ 2台 筑波交流センター 1台 吉沼交流センター 1台 桜保健センター 1台 谷田部保健センター 1台 豊里交流センター 1台 荳崎交流センター 2台				事業計画	-				
執行体制	職員のみ			活動実績	各地区で生活機能向上機器を貸出し、シルバーリハビリ体操指導士による出前体操教室において機器を活用し、2月末までで延べ4,877名の利用があった。				上半期活動実績	-				
事業の目的	生活機能向上機器を利用することにより、地域高齢者の外出を促し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため。			成果	介護予防や予防意識の啓発に寄与できた。				上半期成果	-				
事業の概要	健康づくり等に効果的な生活機能向上機器を活用し、高齢者の生きがいづくり・健康づくり活動への支援を行う。			課題	周知が足りない面もある。				課題	-				
ISO 14001	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠	-	
環境関連性	-	-	-	評価	有効性	【終了】中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度の方向性	理由	
					効率性	【終了】中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-				
					総合評価	：事業の終了			総合評価	-				
事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	事業費(A)	454千円	3,149千円	0千円	0千円	国庫支出金	179千円	1,228千円	0千円	0千円
					県支出金	89千円	614千円	0千円	0千円	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
					その他特財	89千円	614千円	0千円	0千円	一般財源	97千円	693千円	0千円	0千円
					人件費(B)	760千円	743千円	0千円	0千円	正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.00人
										時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
										臨時職員等	無	無	-	
					事業コスト(A+B)	1,214千円	3,892千円	0千円	0千円					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	高齢福祉課	在宅福祉係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
08	03	01	02	12	高齢者いきいき健康アップ事業に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	5,194千円	4,624千円	7,381千円	0千円
総人件費	3,038千円	2,972千円	2,972千円	
総事業コスト	8,232千円	7,596千円	10,353千円	

事務事業名	01 ICT高齢者いきいき健康アップ事業				指標名	参加者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	年度末現在の参加人数を指標とする。		
戦略プラン	1	1	高齢者支援体制の整備		実績	335名	400名	500名	500名	500名	500名	500名			
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標		
	-	-	-	-	改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 新規参加者を100名増やす。 健康・栄養教室などは改めてこの事業の中だけで行わず、いきいきプラザ等で実施される講座の情報提供も積極的に行う。 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 新規参加者を100名募集する 長期的に継続できる環境づくりをする 				
個別計画	高齢者福祉計画				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 参加者募集について、広報紙以外に、自治会回覧を行う。(平成27年5月新規参加者募集) 健康教室・栄養教室の開催回数を検討する。 吉沼地域に健康ステーションを設置する。 新規加入者：事業説明及び体力測定(平成27年7月) 2回目の体力測定実施(平成28年2月) 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者が変更となり、新システム「N-system」を活用する。参加者の歩数と中強度の身体活動(速歩き)時間を記録し、その結果を2か月に一度参加者へ郵送する。 既存参加者を対象に、新システムの説明及び活動量計(万歩計)の配布を行う。 新規参加者を募集し、事業説明会及び体力測定を行う。 2月に全参加者を対象とした体力測定を実施する。 				
根拠法令等	27ICT高齢者いきいき健康アップ事業実施要項					活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度新規参加者：90名 吉沼交流センターへ健康ステーション(タブレット及びデータ読み取り機)を設置した。(健康ステーション：全8か所) 7月に新規参加者70名を対象に体力測定を実施した。(50名参加) 9月に追加募集の新規参加者20名及び7月の体力測定に参加できなかった新規参加者を対象に体力測定を実施した。(25名参加) 2月に全参加者354名を対象に体力測定を行った。(169名参加) 				上半期活動実績	-			
事業分類	A 任意的事業				成果	<ul style="list-style-type: none"> 上半期同様2ヶ月に1度の歩数データを送付際、メッセージやウォークの日・健康教室のチラシを同封した。また、歩数データがない方にも送付し、継続実施を呼びかけることができた。 				上半期成果	-				
執行体制	一部委託				課題	<ul style="list-style-type: none"> 新規参加者の確保及び長期的に継続できる環境づくりが必要。 				課題	-				
事業の目的	活動量計を身につけて、日常自分が歩いている量やエネルギーの消費量を確認し、運動習慣を身につけてもらうため。 また、介護認定になることを遅らせることと医療費の変化も検証し、医療費が削減できているところまでを目的とするため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
	事業の概要	参加者自身が日常的に健康データ(歩数等)をトラッキングし、そのデータを健康管理システムで管理し、健康データの「見える化」に取り組み、行動変容を促進する。				評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-							
ISO 14001 関連性					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-						
	内訳		事業実施コスト		H26年度決算		H27年度決算		H28年度当初		H29年度当初				
		事業費(A)		5,194千円		4,624千円		7,381千円		0千円					
		国庫支出金		1,298千円		1,156千円		1,845千円		0千円					
		県支出金		649千円		578千円		922千円		0千円					
		地方債		0千円		0千円		0千円		0千円					
		その他特財		2,155千円		1,872千円		2,989千円		0千円					
		一般財源		1,092千円		1,018千円		1,625千円		0千円					
		人件費(B)		3,038千円		2,972千円		2,972千円							
		正職員		従事割合 0.40人		0.40人		0.40人							
		時間外勤務		0.00時間		0.00時間		0.00時間							
		臨時職員等		有		有		有							
		事業コスト(A+B)		8,232千円		7,596千円		10,353千円							
		H29年度当初積算根拠		-		-		-							
		H29年度の方向性		-		理由		-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	18,089千円	27,843千円	20,438千円	0千円
総人件費	7,593千円	7,428千円	7,428千円	
総事業コスト	25,682千円	35,271千円	27,866千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	桜老人福祉センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	11	桜老人福祉センター運営に要する経費

事務事業名	01	桜老人福祉センター-管理運営事業	指標名	施設利用者数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	入浴・娯楽設備等の福祉サ-ビス事業に対するの 利用入館数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	-	-	-	20,000名	20,000名	2,3000名	23,000名	23,000名	23,000名	23,000名					
総合戦略	-	-	-	実績	23,000名	24,519名	-								
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度							
根拠法令等	老人福祉法, つくば市老人福祉センター-条例			改善目標	有効的行政サ-ビスの一環として, 高齢者の健康・衛生面の充実を兼ねて施設内空調設備の設置・トイレ改修工事が27年度予算化され, 8月頃までに施工予定である。				改善目標	施設内の老朽箇所の点検及び修繕, 施設内の立木を伐採するなど施設の整備を行う。					
事業分類	F 施設等維持管理事業			事業計画	施設整備を充実することにより, 高齢者同士の健康増進・親睦・教養の向上等の達成度に努める。 ロビ-・ホ-ルの空調設備の設置 2階トイレ修繕工事				事業計画	施設整備を充実することにより, 高齢者同士の健康増進・親睦・教養の向上等の達成度に努める。 浴室のシャワーホ-スの取替 中庭枯れ木の伐採					
執行体制	一部委託			活動実績	利用者の利便性を考え, 安心安全にまた快適な施設利用ができるように, 図書室の改装や湯上り室の空調対策用の仕切りを設定するなど改善を施した。またロビ-・湯上り室・図書室にエアコンを新たに設置した。				上半期活動実績	-					
事業の目的	高齢者の健康増進, 教養の向上やレクリエ-ション活動の場所を提供し, 福祉の向上を図るため。			成果	利用者が快適に施設使用できるように改善することができ, 利用者数も少しずつ増えてきた。				上半期成果	-					
事業の概要	入浴設備の適正な施設管理及び整備・各種サ-クル等の支援や高齢者の活動場所の提供 社会福祉協議会主催事業への施設貸出			課題	敷地内の立木が大きくなり, 剪定等の処置をしないと今後施設への影響が出でくと思われる。				課題	-					
ISO 14001	-	-	評価	有効性	中: 適切な成果が得られている				評価	有効性	-				
環境	-	-	評価	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-				
関連性	-	-	評価	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価	-				
											事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
											事業費(A)	18,089千円	27,843千円	20,438千円	0千円
											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
											その他特財	780千円	971千円	782千円	0千円
											一般財源	17,309千円	26,872千円	19,656千円	0千円
											人件費(B)	7,593千円	7,428千円	7,428千円	
											正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.00人
											正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
											臨時職員等	有	有	有	
											事業コスト(A+B)	25,682千円	35,271千円	27,866千円	
											H29年度当初積算根拠	-			
											H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	37,370千円	39,959千円	37,804千円	0千円
総人件費	26,595千円	26,052千円	18,624千円	
総事業コスト	63,965千円	66,011千円	56,428千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	谷田部老人福祉センター-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	12	谷田部老人福祉センター-運営に要する経費

事務事業名	01	谷田部老人福祉センター-管理運営事業	指標名	施設利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	入浴・娯楽施設等の福祉サ-ビス事業に対するの 利用入館数									
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度											
					61,000名	65,000名	65,500名	66,000名	66,500名	67,000名	67,500名											
総合戦略	-	-	-	-	実績	65,099名	68,418名	-														
個別計画	-				H27年度				H28年度				その他の指標	-								
根拠法令等	老人福祉法, つくば市老人福祉センター-条例				改善目標	冷暖房設備の基幹となる「吸収式冷温水機」が、修繕ができない程老朽化しているため、電気式省エネ型のエアコンを設置したい。				改善目標	利用者の状況や推移をみて対応していくとともに、快適な環境を維持する。											
事業分類	F	施設等維持管理事業	事業計画	カラオケ大会(年1回:参加者45人) ヨガ(月1回:定員60人:参加者500人) 飲料水(週1回)及び浴槽水質検査(毎日4回) 受水槽検査(月1回)				事業計画	カラオケ大会(6月) ヨガ教室(5月から毎月第2月曜日) 浴槽水検査(毎日4回) 浴槽配管薬品洗浄(年2回) その他通年の施設維持管理				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初					
執行体制	一部委託		活動実績	カラオケ大会(年1回:参加者49人) ヨガ(月1回, 定員60人:参加者述べ338人) 飲料水検査(毎火曜日)及び浴槽水質検査(毎日4回) 受水槽検査(年1回)				上半期活動実績	-				事業費(A)	37,370千円	39,959千円	37,804千円	0千円					
事業の目的	高齢者の健康増進, 教養の向上やレクリエ-ション活動の場所を提供し, 福祉の向上を図るため。		成果	カラオケ大会及びヨガ教室は健康維持・増進の支援になった。 快適な入浴施設の提供により, 利用者の清潔・健康維持に役立った。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
事業の概要	入浴施設及びカラオケ設備の利用, カラオケ大会(6月), ヨガ講座(5月から毎月1回実施)		課題	ヨガ教室は出席率が少し低い。 お風呂の利用者が増え待ち時間が発生することがある。 団体利用者も増加し, 駐車場が手狭になることがある。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
ISO 14001 環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円							
			有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				その他特財	1,592千円	1,426千円	1,559千円	0千円					
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				一般財源	35,778千円	38,533千円	36,245千円	0千円					
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				人件費(B)	26,595千円	26,052千円	18,624千円						
											正職員	従事割合	3.50人	3.50人	2.50人							
											時間外勤務	7.00時間	20.00時間	20.00時間								
											臨時職員等	無	無	無								
											事業コスト(A+B)	63,965千円	66,011千円	56,428千円								
											H29年度当初積算根拠	-										
											H29年度の方向性	-	理由	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	4,140千円	4,254千円	4,909千円	0千円
総人件費	4,556千円	4,457千円	4,457千円	
総事業コスト	8,696千円	8,711千円	9,366千円	

部等名	課等名	係等名
福祉部	荳崎老人福祉センター	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	13	荳崎憩いの家管理に要する経費

事務事業名	01	荳崎憩いの家管理運営事業	指標名	施設利用者数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	利用者数			
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
実績	-	-	-	-	1,620名	1,328名	-									
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-		
改善目標					施設の老朽化に伴い事業の見直しが必要。				施設の老朽化に伴う施設・設備器等の損壊及び故障個所の修繕・補修							
事業計画					施設の周辺の方の利用が多いので縮小しながらも事業を継続する。				実態に即した施設運営のあり方検討及び事業の縮小・廃止等を含めた総合的な見直しを行い、管理方針を定める。							
活動実績					・利用人数……1,328名 ・開館日数……313日				上半期活動実績							
成果					利用者は減少しているが、高齢者同士の憩いの場となった。				上半期成果							
課題					施設の老朽化による施設・設備器等の損壊及び故障				課題							
事業の進捗状況					達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				-	目標の進捗状況	-		
有効性					中：適切な成果が得られている				有効性				-			
効率性					中：適切な費用対効果が得られている				効率性				-			
総合評価					B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				-			
ISO 14001 環境関連性													H29年度当初積算根拠			
													H29年度の方向性	-	理由	-
事業実施コスト													H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)													4,140千円	4,254千円	4,909千円	0千円
国庫支出金													0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金													0千円	0千円	0千円	0千円
地方債													0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財													194千円	194千円	194千円	0千円
一般財源													3,946千円	4,060千円	4,715千円	0千円
人件費(B)													4,556千円	4,457千円	4,457千円	
正職員													従事割合	0.60人	0.60人	0.60人
時間外勤務													0.00時間	0.00時間	0.00時間	
臨時職員等													無	無	無	
事業コスト(A+B)													8,696千円	8,711千円	9,366千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
福祉部	荳崎老人福祉センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	08	14	荳崎老人福祉センタ-運営に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	21,482千円	15,719千円	19,470千円	0千円
総人件費	18,252千円	17,855千円	10,427千円	
総事業コスト	39,734千円	33,574千円	29,897千円	

事務事業名	01 荳崎老人福祉センタ-管理運営事業及び荳崎農村高齢者交流センタ-管理				指標名	-				指標種別					指標の概要						
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
					21,000名	18,000名	-	-	-	-	-										
					実績	17,763名	19,396名	-													
総合戦略				H27年度				H28年度				その他の指標									
				改善目標	設備(ボイラ-・空調機器)の更新				改善目標	施設・設備の適正管理 ・故障施設・設備の修繕計画又は実施。 ・老朽化設備等の修繕計画又は実施。											
個別計画												事業実施コスト									
												事業費(A)				21,482千円 15,719千円 19,470千円 0千円					
根拠法令等				つくば市老人福祉センタ-条例, つくば市荳崎農村高齢者交流センタ-条例				事業計画				内訳				国庫支出金 0千円 0千円 0千円 0千円					
				施設・設備の維持管理, 施設利用者への室等貸出。				事業計画				施設利用者に対して部屋の貸出。 ・施設, 設備, 機器等の維持管理 (当施設は, 福祉支援センタ-共有施設のため, 福祉支援活動に係る指標設定がされた事業計画があるが, 老人福祉センタ-としての施設利用は, 専ら室等の貸出事業であることから利用者増進を目的とした事業計画がない。なお, 農村高齢者交流センタ-施設部分については, 行政財産使用許可による社会福祉協議会等の高齢者事業が展開され, 施設の利活用が図られている。)				県支出金 0千円 0千円 0千円 0千円					
事業分類				F 施設等維持管理事業				活動実績				上半期活動実績				地方債 0千円 0千円 0千円 0千円					
				施設貸出事業として, 平成27年度の開館日数は246日で, 貸出室等の利用者数は18, 231人となっているが, 高齢者の自主的なサークル活動による生産活動(現状としては高齢化により衰退している)や生涯学習活動等の場の提供を目的としているため, 利用者の目標値(指標)としては設定できない。 施設管理については, 清掃, 植栽管理等の維持管理業務や設備の保守管理業務を適切に実施した。				上半期活動実績				-				その他特財 313千円 310千円 308千円 0千円					
執行体制				職員のみ				成果				上半期成果				一般財源 21,169千円 15,409千円 19,162千円 0千円					
				貸出施設の利用者に支障をきたすことのない施設の維持管理業務が遂行できた。 設備(ボイラ-・空調機器)については, 更新達成ができなかった。				上半期成果				-				人件費(B) 18,252千円 17,855千円 10,427千円					
事業の目的				高齢者の技術及び知識を生かした生産活動や生涯学習, 及び健康増進の場を提供することにより, 福祉の増進・向上を図るため。				課題				課題				正職員					
				・各施設とも開館時より, 29年, 21年経過しているため, 設備・機器の老朽化による修繕が増えている。 ・ボイラ-については現在故障はしていないが, 空調機器(吸収温水発生機)が1基故障しているため, 冷暖房への支障が懸念される。				課題				-				従事割合 2.40人 2.40人 1.40人					
事業の概要				施設貸出業務・・・利用者に荳崎老人福祉センタ-及び荳崎農村高齢者交流センタ-の部屋の貸出, 管理運営を行う。 施設維持管理業務・・・施設が安全で快適に利用できるよう維持管理業務を行う。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				時間外勤務 10.00時間 10.00時間 10.00時間					
				達成				目標の進捗状況				-				臨時職員等 無 無 無					
				未達成				-				-				事業コスト(A+B) 39,734千円 33,574千円 29,897千円					
ISO 14001 環境関連性				評価				評価				H29年度当初積算根拠									
				有効性 中:適切な成果が得られている				有効性 -				H29年度当初積算根拠									
				効率性 中:適切な費用対効果が得られている				効率性 -				理由 -									
				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価 -													